

第2次総合振興計画（令和4年度～8年度）

7つの重点施策に取り組みます

令和8年度当初予算 427億4,000万円（※令和6年度比：▲1.3%）

重点施策

1

活力のある産業を育て雇用をつくるまち



農業機械による有機野菜畑の整備

1 水産業の振興

- 最重要課題は、水揚げの増大
- 地元漁船の維持継続支援
- 地元外漁船の入港促進
- 誘致企業の事業化支援

2 農業の振興

- 振興作物（3果樹）の機械整備支援
- 有機野菜の生産拡大支援
- 農地承継に対する新たな補助
- 効率的な農業生産のための基盤整備事業

4 商工業の振興

- 人材確保へ向けたインターンシップの充実
- 事業承継の現状と課題を把握
- 製造業の振興、浜田港の利用促進、企業誘致

3 林業の振興

- 森林整備、人材育成、市産材の利用拡大、木育の推進
- 低コスト化と利益還元を図る仕組みづくりの研究

5 観光の振興

- 食の魅力化
- 石見神楽、温泉、食の魅力を結び付けた観光コンテンツの一体的な発信

重点施策

2

健康でいきいきと暮らせるまち



すくすくで遊ぶ子ども

1 子育て支援

- 「こどもの権利条例」の制定に向けた検討
- 子ども医療費の完全無償化
- 産後ケア事業の拡充
- 5歳児健診の実施
- こども誰でも通園制度の開始

3 医療体制の充実

- 地域医療人材の確保と育成
- 浜田医療圏の実態把握・分析
- 浜田医療圏で補完し合える医療体制の構築へ向けた関係機関との協議
- 国保診療所の診療体制維持
- 看護人材の確保

2 高齢者・障がい者福祉の充実

- 継続的な医療・介護サービスの提供体制づくり
- 学習会や認知症カフェ、チームオレンジへの支援
- 地域共生社会の実現に向けた障がいに関する理解の促進

4 そのほか

- 若年世代の健康意識啓発の強化
- 地域や職域と連携した健康増進の機運醸成

育ち、育てる、はまだへ

令和8年度施政方針



令和8年度施政方針の内容を抜粋してお知らせします。



全文は市ホームページに掲載しています

令和8年度施政方針浜田市

市ホームページから検索できます。

物価高騰対策

長引く物価高の影響の中、市民生活や市内事業者を支援するため、各種支援を実施します。

先般、子育て世帯への応援金や水道料金の減免などを実施する方針を示しました。さらに、**家計負担の軽減や地域内の消費喚起**による市内事業者支援につながるよう、プレミアム付はまだ応援チケットを発行することとしています。加えて、県の財源を活用して実施する住民税非課税世帯への支援金についても、速やかに準備します。

一次産業の振興

浜田市は、豊かな水産物や、有機農業をはじめとする農産物など、豊富な地域資源に恵まれています。一次産業を、こうした地域資源を生かす重要な産業と位置付け、**稼げる産業に転換する挑戦を全力で後押し**します。

農林業では、担い手不足を補うため、6次産業化などの新たな挑戦を後押しし、付加価値の創出を図ります。

水産業は、㈱三陽やプロキシマー㈱の誘致実現を通じて、水産都市浜田の再生に向けた取組を進めます。

令和8年度 特に力を入れる施策

人材の育成

まちづくりの基盤を支えるのは、地域に暮らし、関わりを持つ「人」です。こどもから若者、高齢者まで、一人ひとりが自ら考え行動し、互いに信頼を育むことで、地域活動や経済の活性化にもつながります。

こどもを取り巻く環境を整えることは、人材育成の出発点と捉えています。こどもたちの声が社会に届く仕組みを構築し、保護者へのサポートをより充実するとともに、**幼児期の教育環境の整備に努めます。**

さらに、社会教育によって**地域で活躍する人づくりを進め、まちづくりの土台を強化したいと考えています。**

DXの推進

急速な人口減少が進む中、あらゆる分野におけるデジタル技術の活用は不可欠なものとなっています。

「自治体DX」はもとより、**デジタルの力で地域の活力を生み出し、持続可能な地域社会を再構築する「地域DX」の実現に向けて、「仮称」浜田市DX推進計画**を策定します。

スマートフォンなどで市民と行政がつながる「デジタル市役所」の構築や、**公共施設のオンライン予約、公金収納のデジタル化を進めます。**また、若年世代のデジタル人材育成や、**スマホ講座などによるデジタル格差の縮小に取り組みます。**

6

安全で安心して暮らせるまち

1 防災危機管理体制の強化

- 次期防災システムへの更新
- 災害情報Webシステムの整備
- 自主防災組織の組織率向上
- 防災訓練の充実、防災出前講座の開催

3 消防・救急体制の充実

- 災害時に寸断しない情報通信ネットワークの構築
- AED不足地域の消防団車庫外壁へAED設置
- 全国で本格運用される「マイナ救急」の普及啓発
- 住民、事業者が参加しやすい消火訓練の実施



地域での消火訓練

2 米軍機騒音問題への対策

- 県や関係機関と共同した国への申入れ
- 飛行訓練の中止
- 訓練空域の実態に応じた学校などの防音対策の実施

4 カスタマーハラスメント対策

- 「(仮称) 浜田市カスタマーハラスメント防止条例」制定に向けた取組
- 識見者などで構成する検討委員会や事業者アンケート、パブリックコメントによる意見反映

7

協働による持続可能なまち

1 協働のまちづくりの推進

- まちづくりセンターやまちづくりコーディネーターと連携した人的支援
- まちづくり総合交付金による財政的支援
- 市民協働活性化支援事業の拡充

2 若者支援

- 若者対策の予算を確保し、若者支援を充実

4 人権の尊重

- 「浜田市人権教育・啓発推進基本計画」の改定
- 審議会などの女性参画率の向上
- 男女共同参画の視点を取り入れた防災対策



協働のまちづくりフォーラム

3 島根県立大学との連携

- より柔軟に研究結果をフィードバックできるよう大学との共同研究のあり方を見直し
- 大学生のチャレンジを応援する事業に着手
- 市内企業と大学生がつながる機会の創出
- 地域おこし協力隊制度などを活用した、大学生など若者のチャレンジを応援する輪の拡大

5 市民との対話

- まちづくりセンターを対話の拠点として、市民の皆さんと対話する仕組みの創設

第3次総合振興計画(令和9年度~12年度)の策定に着手

令和8年度は、「育ち、育てる、浜田」の実現に向けて本格始動します。新しいことに挑戦しながら、市民に寄り添う優しさと、頼りにされる強さを兼ね備えた行政を実現します。今後策定する第3次浜田市総合振興計画(令和9年度~12年度)に掲げる各種事業を着実に推進できるよう、市職員とも一丸となって全身全霊で取り組んでまいります。

問合せ 市長公室総合調整係 ☎9100

3

夢を持ち郷土を愛する人を育むまち

1 教育環境の整備

- コミュニティスクールと地域学校協働活動の充実
- オンライン相談窓口の導入
- 小中学校特別教室へのエアコン設置
- 小中学校の適正配置の検討

3 社会教育の推進

- 図書館、美術館、まちづくりセンターなどを「学びと対話の拠点」へ
- まちづくりセンター事業の充実
- 市民協働活性化支援事業による活動団体への支援拡充
- 市民活動をサポートする体制の強化



世界こども美術館で作品鑑賞する小学生

2 高校魅力化

- 高校魅力化コーディネーターの継続配置

4 郷土資料館及び石見神楽保存・伝承拠点

- 郷土資料館の建替え整備に向けた取組実施
- 石見神楽保存・伝承拠点の必要性について、検討委員会の「基本構想案」や、市民の皆さんの意見を伺い総合的に判断

4

自然環境を守り活かすまち

1 カーボンニュートラルの推進

- 再生可能エネルギー設備導入補助金の充実
- 民間事業者の取組に新たな支援策
- 大型発電事業に対する新たなガイドラインの策定



公共施設への再生可能エネルギー設備導入

5

生活基盤が整った快適に暮らせるまち

1 立地適正化計画

- 市街地や地域の生活拠点に都市機能や居住を集約し、公共交通でつなぐ「コンパクト・プラス・ネットワーク」を目指し、策定に取り組む

2 浜田駅周辺グランドデザイン

- 市民・事業者・行政などが一体となったまちづくりを推進
- グランドデザインの策定に着手
- 地域力創造アドバイザー制度の活用

4 上下水道事業

- 水道料金改定及び激変緩和措置の実施
- 浜田処理区整備事業の令和8年度末供用開始、令和9年度からの利用者接続(予定)



新たに開通した周布橋(令和3年8月豪雨により架け替え)

3 道路整備

- 山陰道全線開通、浜田道4車線化に向けた要望活動
- 交付金などを活用した市道整備
- 通学路安全対策の継続実施
- 浜田橋仮設歩道橋の設置

5 公共交通の充実

- 敬老福祉乗車券、あいのりタクシーの継続実施
- 生活路線バスなどの持続可能な地域公共交通体系の構築に向けた見直し
- 高校生通学定期券助成事業の拡充